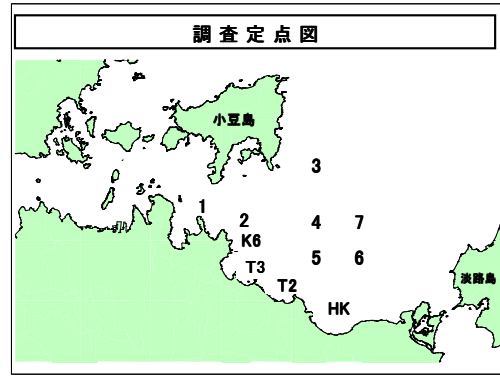


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2012. 8- 2号)

香川県水産試験場 益井
TEL: 087-843-6511

調査日: 8月17日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

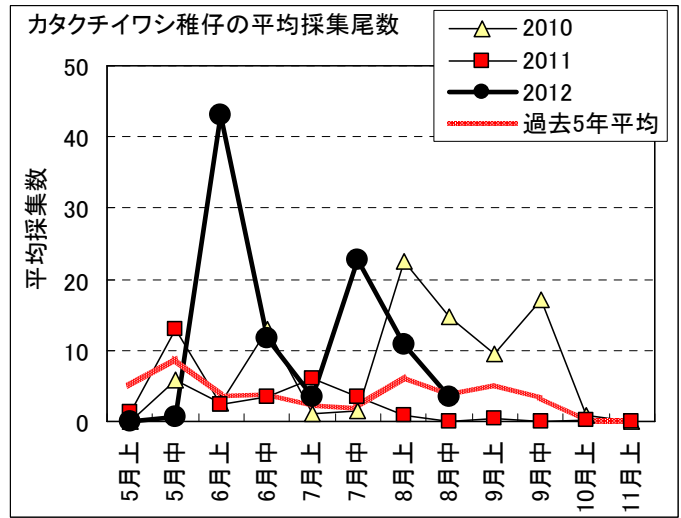
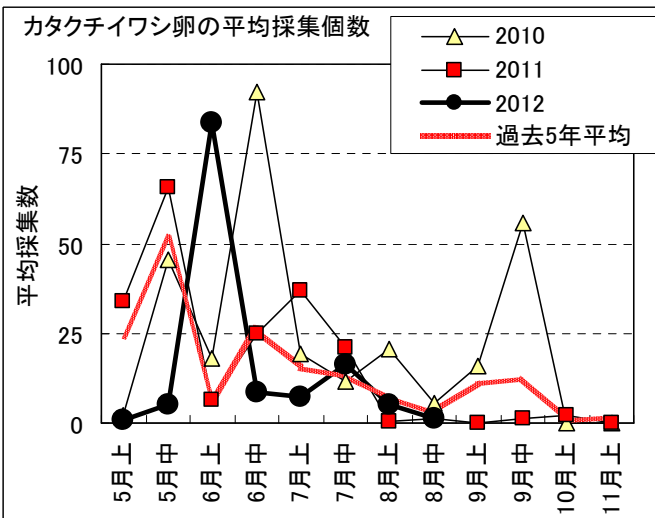


【カタクチ卵】 定点別出現数

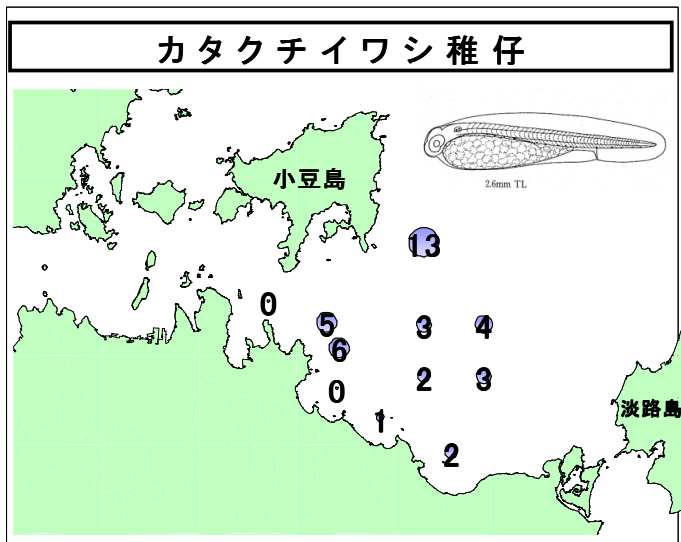
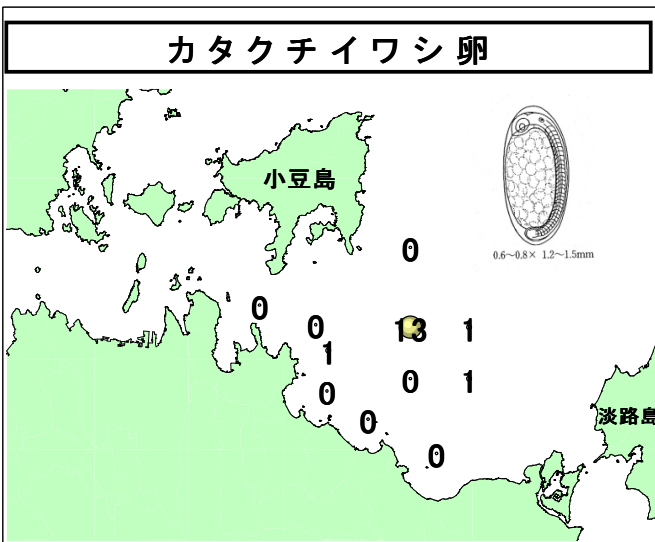
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.8.18	0	0	26	31	2	0	2	0	0	0	0	5.5
2011.8.17	0	0	0	4	0	10	0	0	0	0	0	1.3
2012.8.17	0	0	0	13	0	1	1	0	0	0	1	1.5

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.8.18	0	0	32	49	18	12	21	24	3	1	2	14.7
2011.8.17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2012.8.17	0	5	13	3	2	3	4	2	1	0	6	3.5



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



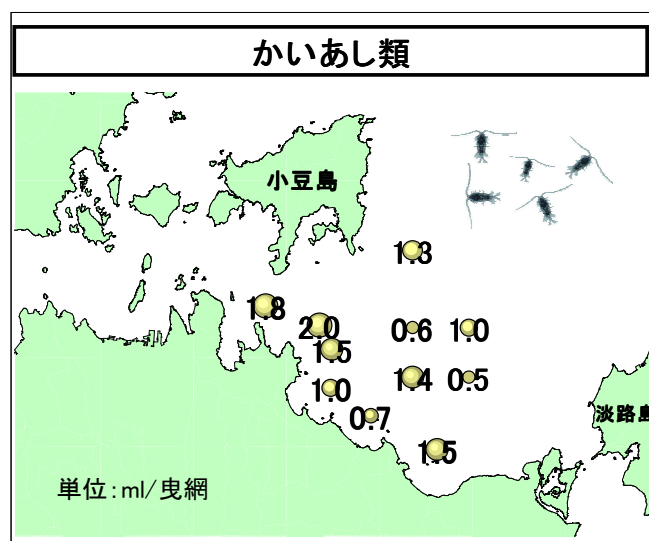
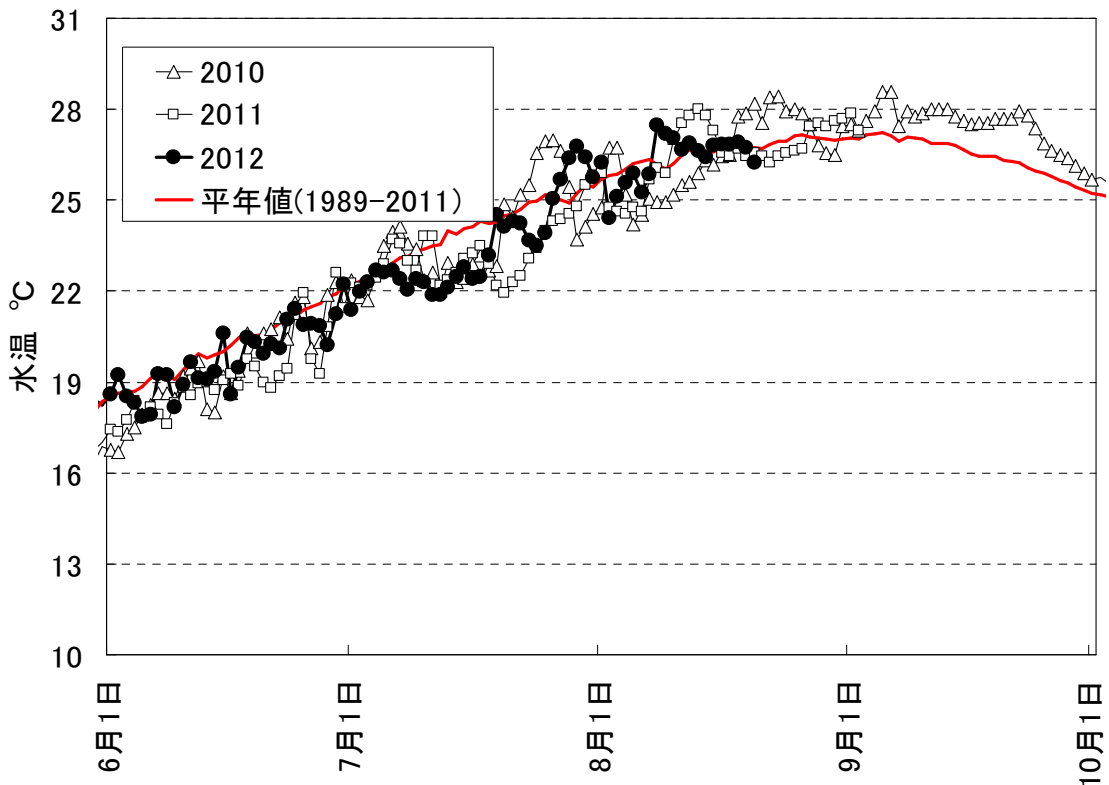
播磨灘11定点における卵の平均出現数は1.5個で、昨年及び平年同時期とほぼ同水準であった。一方、稚仔の平均出現数は3.5尾で、前回調査(8月3日)から減少し、平年同時期と同水準であった。

餌料生物として重要なかいあし類は、前回より増加傾向で、11点の平均は1.2mL/曳網であった。

引田沖の水温は、8月以降「やや高め」から「平年並み」で推移している。

【参考】

引田沖水温ブイデータ(午前9時, 1.5m層)



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は、9月4日に浅海定線調査に合わせて実施予定です。